

皆様方には、復興に向けた取組において、国内外から多大なるご支援と励ましを賜りましたことに対し、御礼申し上げます。

今後も復興に取り組んでいきますが、東日本大震災津波で破壊された地域の真の再生のためには、地域の歴史と文化に学び、これを未来に伝える努力をすることが大切だと考えます。そこで、この紙面を通じて、歴史文化観光地としての気仙地域の魅力をお伝えしたいと思います。第2弾は「気仙の産金」についてです。

気仙地方の黄金伝説とは?

平安時代、藤原清衡が奥州平泉の中尊寺境内に「金色堂」を建立しましたが、その頃すでに気仙郡世田米(現住田町)の野尻金山や小府金金山では盛んに採金されていました。

この華麗な黄金仏教文化が開花した藤原三代の時代を支えたのは、陸奥国の磐井郡(現岩手県)、本吉郡(現宮城県)、そして気仙郡に広がるわが国屈指の広大な砂金地帯であったといわれています。

そしてあのマルコ・ポーロが記した「東方見聞録」にある「黄金の国ジパング」とは、これらの地域を指すのではないかという人もいます。





産金について

産金区分

産金関係では金の産出状態によって、「川・浜砂金」、「土金」(柴金)および「岩金」(山金)の三群に区別されています。

川・浜砂金

川底や海岸の砂礫中に混じっている砂金(沙金)を「川砂金」、「浜砂金」といい、両者は古くは「水金」(みずがね)といいました。また、それが微細な場合、古くは「糠金」(ぬかがね)または「麩金」(ふすまがね)ともいわれました。明治時代以降に大形の川砂金が数箇所で発見されましたが、現在では趣味として川砂金採取が行われています。

金土

川岸、山野、崖などの土砂中に混じっている金粒を「土金」(つちがね、どきん)といいます。この土金は古くは「みよし金」、「柴(芝)金」(しばがね)とよばれ、奥州では古代から近世まで、川砂金の他にこの土金も「露天掘り」や「坑道掘り(土坑掘り)」で採取されていました。

岩金

金鉱脈の岩石中に混じり、その岩盤を掘削する「坑道掘り」で採取される金を「岩金」(いわがね)または「山金」(やまがね)といいます。また、岩金が含まれる石英脈や土金が含まれる鉱脈を古くは「金蔓」(かねづる)、「鍾」(ひ)、「鉉」(つる)または「鏈」(くさり)とよばれていました。



道具

猫掻き:

土砂を流して重い砂金を採取 する道具



搗鉱機(とうこうき): 金の製錬のため、鉱石を 粉砕する道具。



鞴 (ふいご):

岩金(粗金)から不純物を 取り除く最後の工程(灰吹き法)において使用した道 旦。



住田町民俗資料館

気仙大工の高い技術によって昭和初期に建てられた旧上有住小学校の校舎は、昭和60 (1985) 年に現在地に移築・修復され、資料館として再利用されています。

上記の産金資料をはじめ、地域を支えてきた産業や人々の暮らしの歩みなど様々な郷土資料が展示されています。

住所 〒029-2501 岩手県気仙郡住田町上有住山脈地15-1

砂金取り体験

河川で砂金採り体験が出来るのは、岩手県内では住田町の気仙川だけです。

インストラクターと一緒に住田町の産金の歴史を学び、川砂金採り の体験が行えます。

(※必ず砂金が採れることは保証できません。また、天候によっては中止を余儀なくされる場合がありますので、ご了承ください。)

連絡先 住田町観光協会 電話 0192-46-2111 住所 〒029-2396

岩手県気仙郡住田町世田米字川向88番地1

אלעדל http://sumita-kankou.wix.com/sumita-kankou

1,500円/名 1.5~2時間 6月~10月



気仙の主な産金遺跡

玉山金山(陸前高田市)

陸前高田市竹駒町にある玉山金山跡は氷上山 (875メートル)の西麓に位置しています。氷上山の山容はお椀を伏せたようにも見られ、かつては仙台藩の気仙四大金山(玉山金山、雪沢金山、坂本沢(青金)金山、今出山金山)の一つとされ、往時の賑わいを偲ばせる地名や旧跡も残されていいます。中でも玉山金山最盛期の主坑といわれ、玉山神社の直下を通って縦横に掘られていると伝えられている「千人坑跡」や金山師瀬戸(勢登)和右衛門が開坑した「和右衛門坑跡」などが有名です。

玉山金山からは透明度が高く上質の水晶も採取され、 奈良県の正倉院の御倉に玉山の水晶と同じ節理の数珠が あるといわれています。なお、水晶のことをこの地方で は「玉」ともよんでいました。

住所 岩手県陸前高田市竹駒町字上壷地内 ウェブサイト http://www.tamayama-kinzan.com//



玉山金山の砂金付き鉱石 写真提供:東海新報社

今出山金山(大船渡市)

大船渡市三陸町には今出山金山跡があります。この金山では、江戸時代から近代(~1941年)まで多くの坑道が掘られましたが、残念ながらその多くは崩壊・埋没しています。この金山の特徴は、金鉱石の品位が上層部で高いことでした。下層部の坑道は昭和時代に掘削され、品位は低いものの多少の実績を挙げていたといいます。現在確認出来る採金跡や施設としては、平場(テラス)や水路跡があります。また、露天堀り跡や水車小屋跡、中源坑脇の急斜面には膨大な量のずりが残っており、往時を偲ばせています。

住所 岩手県大船渡市三陸町越喜来字西上甫嶺地内

気仙ご当地グルメ



鶏ハラミ

鶏ハラミとは住田町の若鶏一羽から約10gしか取れない貴重な鶏肉の部位です。

油をしかずにフライパンで炒めるだけ。味の種類は① 味付け、②ネギ塩、③にんにく、④みそ、

⑤ピリ辛の5種類あります。ぜひ鶏ハラミのプリプリ した食感をお楽しみください!

また、町内には、鶏ハラミを使ったメニューを提供している店舗が7ヶ所あります。

☆☆より詳しい情報について☆☆

(日本語での表記となります。)

- 平泉町観光商工課作成 「平泉文化を支えた3金山 黄金海岸金山探訪」パンフレット
- 産金遺跡研究会 「黄金の在処と行方 -気仙地方とその周辺の産金遺跡-」
- 玉山金山遺跡活用推進協議会 「玉山金山」HP(http://www.tamayama-kinzan.com/)

編集後記

この誌面上で気仙の産金の魅力の一端でもお伝えできれば幸いです。なお、取材に快くご協力をいただきました関係機関の方々、この場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

次号については3月下旬頃に発行予定です。 第行: 岩手県大船渡地域振興センター 編集: 原合
TEL: +81-0192-27-9911 Email: BG0001@pref.iwate.jp